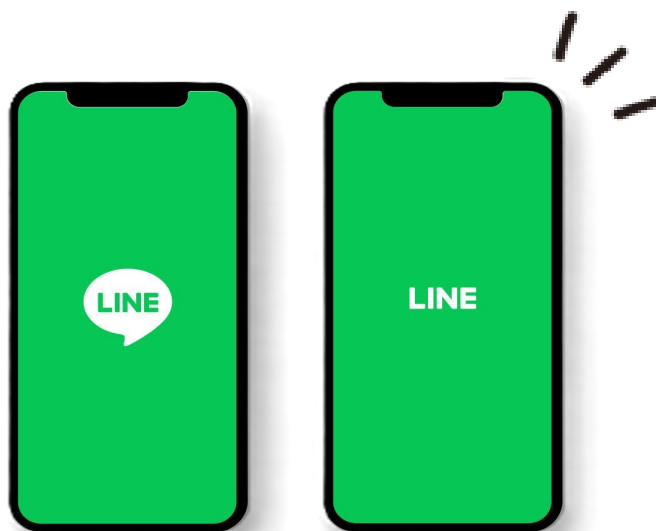


令和7年度「LINEを活用した電子回覧板活用講座」
受講団体にインタビューしました

電子回覧板導入事例集

～テーマ別まとめ～



福岡市

目次

01 ヒアリング団体の概要

世帯数・登録者数・自治会の特徴等を紹介

02 ヒアリング結果

- テーマ1 導入理由
- テーマ2 導入して良かったこと
- テーマ3 導入する際に困ったこと
- テーマ4 導入までの進め方
- テーマ5 運用ルール作成
- テーマ6 役割分担
- テーマ7 住民への周知方法
- テーマ8 LINEに不慣れな住民への対応
- テーマ9 発信内容・紙との使い分け

※ヒアリングは令和8年2月に実施

ヒアリング団体の概要

質問)

皆さまの所属されている自治会について
教えてください。



自治会 D 世帯数:約600世帯



10月下旬受講

登録者数:351名

自治会の特徴:戸建て、高齢者、子育て世代が多い
活用ツール:LINE公式アカウント(有料プラン)

自治会 A 世帯数:約150世帯



8月下旬受講

登録者数:58人

自治会の特徴:集合住宅が多い
活用ツール:LINEオープンチャット

自治会 E 世帯数:約700世帯



11月下旬受講

登録者数:約80名

自治会の特徴:集合住宅、高齢者、子育て世代が多い
活用ツール:LINE公式アカウント(無料プラン)

自治会 B 世帯数:約450世帯



8月下旬受講

登録者数:90人程度

自治会の特徴:戸建て、高齢者、子育て世代が多い
活用ツール:LINEオープンチャット

自治会 F 世帯数:約1300世帯



11月上旬受講

登録者数:208名

自治会の特徴:戸建て、高齢者、子育て世代が多い
活用ツール:LINE公式アカウント(有料プラン)

自治会 C 世帯数:約170世帯



11月上旬受講

登録者数:まずは班単位での活用(20名参加予定)

自治会の特徴:戸建て、高齢者、子育て世代が多い
活用ツール:LINEオープンチャット

校区 G 世帯数:約3,300世帯



10月下旬受講

登録者数:まずは役員間で活用

自治会の特徴:戸建て、高齢者、子育て世代が多い
活用ツール:LINE公式アカウント(無料プラン)

※校区単位で受講

テーマ1 導入理由

質問)

LINEを活用した電子回覧板を導入しようと思った理由について教えてください。



自治会 A



デジタル化が進む中で、市からの情報提供や他の自治会の事例を通じて電子回覧板に興味を持ち、導入を決めました。

自治会 B



紙の回覧板の廃止を進めていきたかったため、電子回覧板の導入を決めました。

自治会 C



紙の回覧板やチラシの準備が大変な中で、情報の伝達を楽に早くすることができる電子回覧板の導入を決めました。

自治会 D



高齢化が進んでおり、足腰が悪い高齢者が回覧板を回すことが難しい中で、若い世代のニーズにも同時に対応できる電子回覧板を導入することを決めました。

自治会 E



印刷物のコスト削減と情報伝達の迅速さを重視して導入を決めました。行事参加者を増加させる目的で導入し、無料で始められる点も大きな魅力でした。

自治会 F



若い世代は回覧板を見るのが少なく、ネットで情報を収集する方が多いため、電子回覧板の導入を決めました。高齢者には紙との併用を選択し、両者のニーズに対応していきます。

校区 G



若い世代の情報伝達のニーズに応えるため、電子回覧板を導入しようと考えています。まずは役員間で試験運用を行い、導入準備を進めている段階です。

テーマ2 導入して良かったこと

質問)



電子回覧板を導入して、良かったことは何でしょうか。

自治会 A 導入前はデータ通信料の懸念がありましたが、現状問題なく、出張中でも回覧を確認でき便利だと好評です。回覧時間の短縮や、時間に縛られずに確認できて良かったとの声も寄せられています。



自治会 D 情報を見てもらいやすくなったことで、キッチンカー販売や地域行事などの案内が住民に届きやすくなり、これまでより多くの参加者が集まるようになりました。



自治会 E 町内会からのお知らせが早く届くようになりました。



自治会 B 回覧を回したり、印刷する手間が省け負担が減りました。



自治会 F 若い世帯にも情報が届きやすくなり、情報を見てもらえるようになりました。またスマホに不慣れな高齢者もいるものの「以前より見やすくなった」との声も寄せられています。



自治会 C 導入した班では、こまめに連絡を発信しやすくなり、迷い犬の早期発見につながりました。サルの出没や不審者情報、事故による通行止めなどの注意喚起も迅速に共有できるようになりました。



校区 G まだ試験運用段階であり、役員のみで活用しています。



テーマ3 導入する際に困ったこと

質問)

電子回覧板の導入時および導入後の運用において、困ったことや課題はありましたか。



自治会 A



現時点では、特に大きな困りごとは発生していません。住民からの具体的な意見もまだ寄せられていないため、課題については今後の運用の中で明らかになってくるかと思えます。

自治会 B



現時点では、特に大きな困りごとは発生していません。

自治会 C



現状困ったことはないですが、今後LINEを利用できないことを理由に、役員や担当者の就任を辞退されてしまうのではないかと懸念があります。

自治会 D



現時点では、特に大きな困りごとは発生していません。

自治会 E



LINE公式アカウントの無料プランでは配信数に制限があるため、情報発信の内容や回数を絞らざるを得ない状況があります。今後有料プランを検討していきます。

自治会 F



現時点では、特に大きな困りごとは発生していません。

校区 G



現時点では、特に大きな困りごとは発生していません。

テーマ4 導入までの進め方

質問)

電子回覧板の導入に至るまでの進め方について、
教えてください。



自治会 A



市の研修会をきっかけに導入を検討し、役員会で協議した後、本講座を受講しました。まず役員間で試行し、その後組長会でも約2か月間活用しました。回覧チラシで周知を行い、11月から本格運用を開始しています

自治会 B



役員会で導入を決定し、その後、役員間で試験運用を行ったうえで運用を開始しました。

自治会 C



私の班では11月末の集会でアンケート(20世帯中12世帯賛成)を実施し、班長を中心に試行を開始しました。現在テスト運用中で、3月末に全体案内を予定しています。

自治会 D



令和7年秋頃に本講座を受講し、電子に詳しい方2名を中心に広報委員会を立ち上げ、導入を進めていきました。

自治会 E



役員を中心に導入を進めていきました。

自治会 F



7月にデジタル導入検討委員会(幅広い年代の7名で構成)を発足し、導入の検討を進めました。12月の餅つき行事の配信を目標に、本格運用までスピーディーに準備を進めました。役員会で予算を決定し、有料プランに加入しています。

校区 G



まず各自治会で試行し、将来的に連合会単位でも活用できる状態になれば導入を検討する予定です。現在は役員のみで試験運用を行っており、登録方法の周知や促進について協議を進めています。

テーマ5 運用ルール作成

質問)

電子回覧板の運用ルールは決めましたか。



決めた場合は、どのように決定したか教えてください。

自治会 A



運用ルールは決めました。会長がたたき台を作成し、役員会で協議のうえ合意を得たものを運用ルールとしています。

自治会 B



運用ルールを定め、コメントは役員のみが行うこととしています。また、迷惑な投稿があった場合には退会していただくこととしています。

自治会 C



今後、アカウント名やフルネーム登録、返信方法などを検討し、運用ルールを定める予定です。広報部などの役割を設けることも良いのではないかと考えています。

自治会 D



情報が埋もれることを防ぐため、個人的な内容は発信しないこととし、個人情報に掲載しないようにしています。また、発信する内容は広報委員会が確認してから投稿しています。

自治会 E



現段階では特に設けていません。

自治会 F



規約を作成し、配信は一方通行(配信のみ)とし、個別のやり取りは行わない運用としています。

校区 G



現時点ではまだ検討に至っていません。

テーマ6 役割分担

質問)

電子回覧板の運営に関わっている人数と、
それぞれの役割分担について教えてください。



自治会 A



役員5名(会長を含む)で運営しており、主に会長が情報発信を担当しています。組長会に共有した内容と同じものを配信しているので内容確認は特に行っていません。

自治会 B



会長・副会長を含む四役と、各委員会のメンバー約20名で運営しています。

自治会 C



私の班では、班長と管理者1名で運営しています。現在は各組で同じ情報を発信しているため、町内会に広報担当を設置し、一元化して情報発信をするのが良いのではないかと考えています。

自治会 D



会長・副会長・広報委員で運営しています。公民館だよりや自治会だよりの配信は、三役で対応しています。

自治会 E



基本的に会長1名で運営しています。

自治会 F



会長1名、書記1名、デジタル委員会3名で運営しています。

校区 G



会長1名と広報担当1名の2名で運営しています。

テーマ7 住民への周知方法

質問)



電子回覧板について、会員へどのように周知しましたか。また、登録者を増やすために行った工夫があれば教えてください。

自治会 A 周知用チラシの回覧のほか、イベント時に大きな看板の設置や開始前の説明などで周知しました。周知用チラシはできるだけカラフルにし、会員の目に留まるように工夫しています。



自治会 D



全家庭に紙で案内を配布しました。口コミでの周知も併せて行っています。

自治会 E マンションの掲示板に案内を掲示して周知しました。今後は、5月の総会で二次元コード付きチラシを配布するほか、町内イベントでも配布する予定です。



自治会 B 二次元コードを掲載した周知用チラシを全戸に配布するほか、班長が集金時に声かけを行い登録者を増やす工夫をしています。



自治会 F 二次元コードを掲載した周知用チラシを全戸に配布し、定期的に回覧にも入れて周知しました。あわせて、声かけを行い、その場で登録支援を行うほか、イベントでも案内を行っています。



自治会 C 二次元コードを掲載した周知用チラシを作成し、全戸に配布して周知しました。登録を促進するため、今後は登録方法などを説明する勉強会の開催も予定しています。



校区 G



試行段階なので、会員への周知はまだ実施していません。

テーマ8 LINEに不慣れな住民への対応

質問)

LINEに慣れていない高齢者などに対して、
どのような対応や支援をしているか教えてください。



自治会 A



今後取り入れていきたいと考えていますが、現時点ではまだ実施できていません。組長会でもLINEの利用が難しい方が2割程度おり、LINEに代わる手段があれば代替方法も検討したいと考えています。

自治会 B



副会長が内容を整理した書面を作成したため、操作説明会は実施していません。登録ができないというような相談もありませんでした。

自治会 C



今後、登録方法などについての勉強会を実施する予定です。

自治会 D



クラブの活動や年1回のバスツアー、頻繁に実施しているグラウンドゴルフの際に、参加者同士で登録方法を教え合うなどして対応しました。

自治会 E



特に困りごとは聞いておらず、登録は問題なくできている様子です。

自治会 F



登録者が増えてきた段階で、操作説明会の実施について協議する予定です。

校区 G



試行段階であるため、具体的な対応方法はまだ決まっています。

テーマ9 発信内容や紙との使い分け

質問)

電子回覧板では、どのような情報を発信していますか。

また、紙の回覧板とどのように使い分けていますか。



自治会 A



組長会の内容や行事案内など、紙資料を写真に撮って配信しています。紙の回覧と使い分けはしていませんが、情報が多くなりすぎないように、回覧板の内容を中心に月1回程度発信しています。

自治会 B



回覧事項や行事案内、防犯情報を発信しています。紙で回した方が良いものは、引き続き紙の回覧板で対応しています。

自治会 C



回覧事項や公民館だより、校区行事などの情報発信を予定しています。紙での配布を希望する方もいるため、当面はLINEと紙の回覧を併用する予定です。

自治会 D



回覧事項や行事案内、町内会費、身近なニュースなどを発信しています。紙の回覧板と併用しており、紙で回した方が良いものは、紙の回覧板で回しています。

自治会 E



現在は町内イベントのみ発信しています。校区イベントや防犯情報も発信したいと考えていますが、無料版は送信数に制限があるため、紙の回覧やチラシと併用しています。

自治会 F



委員会議事録や行事の周知・終了報告を発信しています。電子回覧板とホームページを連携させ、緊急連絡やゴミ出し情報はLINEでは発信せず、ホームページで閲覧できるようにしています。

校区 G



試行運用段階のため、発信の使い分けについてはまだ決まっていません。